

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	癒着胎盤における MRI 拡散強調像の有用性について
当院の研究責任者 (所属)	大彌 歩 (放射線科)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	琉球大学病院放射線科、講師、伊良波 裕子 京都大学医学部附属病院放射線部、樋本 祐紀 神戸大学医学部附属病院、特命准教授、坪山 尚寛 筑波大学附属病院、放射線診断・IVR 学、講師、齋田 司 鳥取大学医学部附属病院、放射線科、教授、藤井 進也
本研究の目的	癒着胎盤の診断において MRI 拡散強調像の有用性を明らかにすること
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日
調査データ(該当期間)	2010 年 1 月～2024 年 3 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 当院産婦人科で前置胎盤と診断され MRI を施行された患者さま 当院産婦人科で癒着胎盤と診断され MRI を施行された患者さま 当院産婦人科で出産された患者さま ●利用する情報 カルテ情報：年齢、診断名、妊娠出産歴、帝王切開既往回数、手術歴、不妊治療歴、MRI 撮影時週数、MRI 所見、超音波所見、分娩・手術記録（分娩時週数、分娩方法、手術所見、手術時間、術中出血量）、摘出子宮の病理組織所見（癒着胎盤の有無、癒着の範囲、深達度）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	匿名化して共同研究機関にデータで送付します（オンラインストレージを利用し、パスワードでロックされた共有リンクに送付）。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した情報は、別の新たな研究に利用する可能性があります。

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究において患者さまの情報を扱う際は、個人が特定できないように匿名化します。学会発表や論文投稿の際にも個人が特定できる情報は一切使いません。尚、匿名化に使用する対応表の管理は各機関の管理責任者が管理し、機関間での授受は行いません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究にかかる資金は琉球大学放射線診断治療学講座の所有する委任経理金を利用します。研究者と資金提供者との間の利害関係はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p><研究機関> 信州大学医学部附属病院 電話：0263-37-2650 担当者：大彌 歩</p>
<p>備考</p>	